昭和53年
9月1日号
第151号
発行所　津奈木町役場
編集総務課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
昭和53年8月1日現在

人口	6,302	−1
男	3,016	−5
女	3,286	+4
世帯	1,673	+2

詠進歌

昭和五十四年敬会始のお題は、「丘」と定められました。

詠進歌は自作の歌で一人一首とし、未発表のものとなっております。詠進の期間は、九月一日から十月十二日までで、要領、注意事項等詳しくお知りになりたい方は役場総務課へおたずねください。

舞鶴城公園 入口に標示板

城山には立派な舞鶴城公園が出来ているのに、国道三号線よりの公園入口の標示板が無かった為に多くの利用者に大変迷惑をかけておりましたが、今度国道三号線千代バス停横（内野入口前）に水俣森氏の善意にたいし紙面をかりして厚くお礼申上げます。

市森政哉氏（建設業）所有の土地を無料で心よく提供して下さいましたので、公園入口の標示板が立つことになりました。

このことによって、これまで以上に便利になり公園の利用者も多くなることと思います。

土地を無料で提供して下さった森氏の善意にたいし紙面をかりして厚くお礼申上げます。

当日は、町民広場で青北部消防ありがとうございました。

上下門老友会二回目 舞鶴城公園草刈奉仕

五月に引続き七月二十一日上下門老友会男女十五名の人達が舞鶴城公園本丸南側を午前中の作業目的で草刈奉仕をされた。

当日は、町民広場で青北部消防操法大会が行なわれており「若かもんに負くんな」と一段と張切り、ゲートボール仲間でチームワークも良く全身汗にまみれながら奉仕された目的の場所よりオーバーする奉仕作業であった。流れる汗も数回タオルをしぼりながら拭き正午には無事奉仕作業は終った。

暑い中に度々奉仕していたき、上下門老友会の方々には心からお礼申し上げます。

津奈木町草刈奉仕 青年団草刈奉仕

七月三十日、津奈木町青年団男女三十九名の人達が、朝八時より正午まで舞鶴城公園の清掃及び草刈奉仕をされた。

舞鶴城公園は上下門老友会の人達が度々草刈奉仕をされているが連合青年団も野崎団長指揮のもとに、雑草を刈る者、空かん空びんを拾い集める者、掃除をする者、三十数名の団員が少しの乱れなく団結し若い力を発揮されたので見違えるようにきれいになった。

正午には奉仕作業も無事終了、奉仕して下さった、青年団の方々には厚くお礼申し上げます。

町内長寿百傑

（明治27年生れまで）

順位	部落	氏名	満令	順位	部落	氏名	満令	順位	部落	氏名	満令
1	町中	斉藤ヤメ	96	36	古中尾	今川シゲ喜	88	71	日当	開田キミ平	85
2	小津奈木	篠原安次郎	96	37	日添	林田里勝人	88	72	日当	宮島持キク	85
3	平国上添	浜田文一太	96	38	小津奈木	永津々木清四郎	88	73	日添	林蟻浦田川キサク	85
4	日添	宮島作太郎	95	39	日当	農鶴山村キト	88	74	梨竹	梨竹竹中スエノ	85
5	日当	岩崎セツミ	92	40	中尾	竹野満眞	87	75	桜戸	浜崎元水村松己代次	85
6	上下門野	福田トミ	92	41	竹中	竹野シゲヲ	87	76	浜崎	小津奈木内野ヒロキ	84
7	内野	内野サダヨ	92	42	竹一中	平国上平野マ	87	77	内野	水山川甚太郎	84
8	日当	伊藤ヨネ	91	43	平国上	竹野田崎卯助	87	78	倉谷	川前船岩本田サトエ	84
9	内野	伊藤保任	91	44	日添	平国上浜野田崎キウ太	87	79	新倉	川谷岩本田ヒツ	84
10	日添	岩崎伊三郎	91	45	平国上	浜野田崎島ムメイ	87	80	新倉	川谷岩沢千々岩才正吉	84
11	日当	岩崎モイ	91	46	平国上	野田吉野島トキシ	87	81	桜戸	桜戸当当岩崎正新蔵	84
12	大平国上	増田亀太郎	91	47	平国	野田吉高永吉浦田キタ	87	82	日当	日当添高木田慶太郎	84
13	平国上	泊上田モヨ	91	48	日添	川田吉高中村上キチ	87	83	日当	添尾尾農田三代次	84
14	日当	添上林チカ	90	49	日添	川田野浦田野山キノ	87	84	添尾	尾尾尾農山善太郎	84
15	平国上	浜長丑太	90	50	新川	小津奈木下田泊山村寿	86	85	中中	中中尾居巳松由	84
16	中中	尾尾藤野喜久次	90	51	小津奈木	添木下泊山上藤モシ	86	86	中中	平尾居平居松タ次	84
17	中中	尾尾尾崎原マシ	90	52	日添	添木下泊山村松松船眞リモ	86	87	中中	尾尾平居豊田巽	84
18	古浜	大崎泊川野留次郎	90	53	日添	添木下泊山田松船眞折ヨ	86	88	中中	古中尾尾尾田嘉ハツネ	84
19	大浜	泊川野谷上ムネ	89	54	日添	添木下泊山田場野上モエ	86	89	古中	内野平国下添浜田田シチ	84
20	小津奈木	浜本ハツキ	89	55	小津奈木	下泊山村松船眞折木村ミユキ	86	90	内下	下国下添竹村前田チ	84
21	新内	内倉川野谷十市郎	89	56	平国	下泊山村上木田場野木村田田タ	86	91	上下国	平国添浜竹村前若野佐久	84
22	内倉	倉日上佐鶴松山浦柳	89	57	大上	日当泊門当当泊戸中川谷下	86	92	平国	平大中川平新	83
23	日倉	倉日日染桜古中大	89	58	大上	日当泊門当当泊戸中川谷下	85	93	平国	添桜桜日平大中川平新	83
24	平国	添当添竹戸川尾泊	89	59	新大	上日日当当泊戸中川谷下	85	94	日浜	浜梨桜日平大中川平新	83
25	日倉	竹倉日日染桜古中大	89	60	大上	下日日当当泊戸中川谷下	85	95	浜梨	梨梨桜日平大中川平新	83
26	日倉	倉日日染桜古中大	88	61	大上	下日日当当泊戸中川谷下	85	96	梨桜	桜日平大中川平新	83
27	竹倉	倉日日染桜古中大	88	62	日日	当当泊戸中川谷下国	85	97	日平	平大中川平新	83
28	倉日	日日染桜古中大	88	63	日日	当当泊戸中川谷下国	85	98	平大	大中川平新	83
29	日日	日染桜古中大	88	64	日日	当泊戸中川谷下国	85	99	中川	川平新	83
30	日染	染桜古中大	88	65	日日	泊戸中川谷下国	85	100	平新	平新	83
31	桜古	古中大	88	66	大桜	桜戸中川谷下国	85	101	新	新	83
32	中大	中大	88	67	町新	新倉谷下国	85	102	倉	倉	83
33	大	大	88	68	倉平	平国	85	103	谷	谷	83
34			88	69	谷		85	104	下	下	83
35			88	70	下		85				

おじいちゃん おばあちゃん いつまでもお元気で

お盆のスポーツ

恒例のお盆の体育行事、水泳大会九チーム。競舟大会一般十二チーム、中学生一チーム、オープンチーム合計十三チーム、野球大会二十一チームの参加で盛大に行なわれました結果、水泳大会は、浜崎チーム、野球は、中尾チーム競舟は、平国下がそれぞれ優勝致しました。老人大会に御協力下さいました各部落の体育当当の方々や大会を運営下さった審判協会の方方に厚く御礼申し上げます。

尚成績は次のとおりでした。

○水泳大会
優勝　浜崎　二位　大泊　三位
竹中

○野球大会
優勝　中尾　二位　新川　三位
内野、古川

○競舟大会
優勝　平国下　二位　大泊、町
中、日添

おめでとう金婚夫婦

結婚五十年

内野	山路茂・ミエ
古中尾	黒田玄吾・フジエ
古川	竹本甚太郎・キフ
古川	吉山秀雄・スエヲ
浜崎	久村豊満・ミツ
大泊	田中久太郎・エノ
小津奈木	岡本友平・トキ
日添	川崎己代次・ハツノ
日当	森山友喜・アキエ
〃	上村保懇・キヨノ
〃	開田久市・ソヤヲ
〃	森本権八・アキノ
福浦	福山政義・ツネモ

結婚五五年

竹中	山崎己久馬・シメモ
大泊	柳迫栄蔵・ヨシノ
〃	椎葉忠義・アヤ子

結婚六十年

小津奈木	永里勝人・スエモ

結婚七十年

竹中	鶴野満眞・ツジ

九月の行事

二日▽県総合青年祭　阿蘇町
三日▽県民体育祭　熊本市
三日　津南保育園、老友会合同運動会　津奈木小学校運動場
六日　県消防操法大会　阿蘇郡代表として第一分団出場
十日　一日父親　阿蘇町
町長杯ソフトボール大会
町民広場外
十一日　熊日金婚夫婦表彰
十五日　敬老会　各部落毎に実施
七十歳以上　六五四名
十七日　津奈木保育園運動会、津奈木中学校運動場
十九日▽定例町議会（予定）
二十三日▽県民体育祭　熊本市
二十四日▽交通安全ゲートボール大会、不知火町クラウンド
老友会男女二チーム出場
二十九日　戦没者慰霊祭
津奈木中学校体育館　十時
二十一日▽秋の全国交通安全運動
三十日▽

ご芳志お礼

部落	世帯主	故人
日添	斉藤実則	エキ
小津奈木	永里静	シメ
古川	豊住松恵	博
	勝光校	博

右の方から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封ご寄附下さいました。この寄附金は町民福祉のため有効に利用させていただきますとともに故人のご冥福を心からお祈り申上げます。

国民年金

国民年金の特例納付の活用を

国民年金の老齢年金をうけるためには、20歳から60歳までの加入期間のうち、保険料を納めた期間と保険料を免除された期間とを合わせて、25年以上（昭和5年4月1日以前に生まれた者は、生年月日に応じて、25年という期間が24年から10年に短縮されています）なければならないことになっています。

国民年金に加入しなければならない人が加入しなかったり、加入していても保険料を納めていなかったりすると、うけられる年金もうけられなくなってします。

あなたの年金は大丈夫ですか。

もし、あなたが、保険料を納め忘れていたばかりに年金がうけられないとしたらたいへんです。このような人にとって、もう一度年金をうけられるチャンスが訪れました。

この7月から、国民年金に当然加入しなければならない人を対象として、昭和55年4月前の加入期間や加入を忘れていた期間のうちすでに時効により保険料を納められなくなっている期間について、1カ月につき四〇〇〇円の保険料を納めるいわゆる特例納付をすることにより、国民年金の老齢年金や通算老齢年金の受給権を確保できる特別の措置が講じられたのです。

あなたの年金は大丈夫ですか。いまいちおたしかめください。

この特例納付ができるのは55年6月30日までですが、お早めに役場や社会保険事務所にご相談ください。

せっかくのチャンスですからこの特例納付をぜひ活用され、失った年金権を取りもどしましょう。

選挙

選挙人名簿とは？

公職選挙法第十九条によって、選挙人名簿は水久に掲えおくものとし、かつ、各選挙を通じて一つの名簿とする。となっています。

又市町村選挙管理委員会は、選挙人名簿の調整及び保管の任に当たるものとし、毎年九月及び選挙を行なう場合に、選挙人名簿の登録を行なうものとする。と義務づけいます。

同法第二十二条は、市町村選挙管理委員会は、毎年九月一日現在により、当該市町村の選挙人名簿に登録される資格を有する者を同月十日に選挙人名簿に登録しなければならない。

同法第二十三条は、市町村の選挙管理委員会は、前条の規定による登録については、九月十一日から同月十五日まで、町村役場又は選挙管理委員会が指定した場所において、選挙人名簿に登録した者の氏名、住所及び生年月日を記載した書面を縦覧に供さなければならない、としています。

この様に選挙人名簿は法律の規定によって作成し、縦覧に供される訳です。津奈木町選挙管理委員会では、法の定めに従い九月一日現在の選挙人名簿を九月十一日から九月十五日迄、津奈木町役場に備えておきますのでどなたでも自由に閲覧してください。

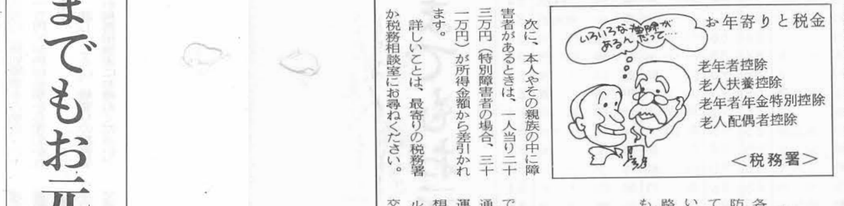
若しも選挙人名簿の登録に関し不服があるときは、縦覧期間内に文書で選挙管理委員会に異議を申し出ることができ、選管ではその申し出が正当であると決定したときは、登録又は抹消することができます。

税務署

お年寄りや障害者と税金

国は、お年寄りや障害者の方など社会的、経済的に弱い立場にある人に対する福祉に力を入れていますが、税金の面でもいろんな特典を設けて、負担が軽くなるようにしています。

例えば、六十五歳以上のお年寄りには、老年者控除として二十三万円が所得金額から差引かれ、公的の年金等については、七十八万円が公的の収入金額から差引かれることになっています。また、七十歳以上のお年寄りを扶養している方や七十歳以上の配偶者のいる方は老人扶養控除及び老人配偶者控除としてそれぞれ三十五万円を所得金額から差引くことができます。



次に、本人やその親族の中に障害者があるときは、一人当り二十三万円（特別障害者の場合、三十一万円）が所得金額から差引かれます。

詳しいことは、最寄りの税務署か税務相談室にお尋ねください。

交通安全

大繁盛で大忙し

去る八月十日、十一日の二日間十四時から十六時までの二時間、千代塚前の広場で居眠り運転防止のための麦茶とオシボリのサービス接待を行ないましたが、五百本用意したオシボリは十五時三十分頃には品切れとなる程目の回るような忙しさで、安全協会役員、婦人会、青年団、農協職員、役場職員の方は汗だくになって応待しておられました。

なお、九州水産より氷柱三本を提供して頂きましたので、この紙面を借りて御礼申し上げます。

ご苦労さん

夏の交通事故防止運動期間中、各校区の婦人会の方が、飛び出し防止の停止線と足形マークをすべての道路に付けて頂きました。暑い中御苦労さまでした。せまい道路から広い道路に出る時は歩行者も車も、左右を確認してから出るようにしましょう。

秋の全国交通安全運動

九月二十一日から九月三十日までの十日間全国一つぜいに秋の交通安全運動が行なわれます。この運動は、すべての者に交通安全思想を普及徹底し、正しい交通ルールの実践を習慣づけることにより交通事故防止の徹底を図ることを目的として行なわれ、運動の重点として、

「歩行者及び自転車利用者、特に子供と老人の交通事故防止」

「安全運転管理の充実と安全運転の促進

となっております。交通事故を起こさないよう、お互いに注意しましょう。

津奈木校区婦人会では、国道三号線津奈木太郎トンネルから、小津奈木までの道路の両側に投げ捨てられた空罐ひろいをされましたひろい集めた空罐はなんと三万個トラック三台分もありました。

自動車で旅行する時は空罐は必ず持ち帰るようにしましょう。

保健

レントゲン撮影について

結核予防法第四条により「レントゲン撮影」検診を毎年一回以上必らず受けなければなりません。

そこで一回目に診まされなかった方は、つぎのとおり実施しますので、一人残らず受診下さい。

記

日時・場所
九月二十七日
津奈木公民館
九時～十一時
赤崎婦人会館
十三時～十四時
平国（長浜一郎商店横）
十四時三十分～十五時三十分

郵便局

簡易生命保険積立金十兆円突破

簡易保険は大正五年創業以来、皆様から「郵便局の簡易保険」として広く親しまれ利用されてきましたが、お陰様で現在総加入件数五、〇〇〇万件、契約高は三十七兆円となりました。資金総額は去る七月四日十兆円の大台を突破しました。

この簡保資金は、加入者の皆様からお預かりした大切な信託財産として、市町村などの地方公共団体はじめ、公団、公庫など政府機関の融資され、住宅や学校、道路等皆様の身近な生活環境の整備拡充に役立っています。

当津奈木町内にも五十二年度中義務教育学校用地取得（平国小）事業に五二五〇円が融資され、現在までに累計二〇九四〇万円が融資されています。

郵便局としましては、この十兆円突破を契機に、さらに豊かな住みよい町づくりにお役に立たいと考えておりますからよろしくお願いいたします。

津奈木郵便局

農薬危害防止運動

農薬の管理が悪かったり、使用上の注意を守らなかったため、毎年相当数の事故が発生しております。農薬を使用される方は次の点を注意して下さい。

「農薬による中毒の主な原因」

(一)散布剤をうすめる時素手で作業したり散布中途で喫煙したり散布後農薬が付着した手を十分洗わず食事をしたりすること。

(二)病後、妊娠中、睡眠不足、生理時等不健康状態で散布に従事すること。

(三)幼首ジャッカ等素手、素足で散布作業に従事したり、マスクをせず散布する等本人の服装が悪いこと。

(四)その他農薬に対する知識が不十分で、取扱いが粗雑で、炎天下長時間散布作業に従事しりする事。

「注意事項」

(一)農薬を使用する時は、容器の表示事項をよく読んで安全適正に使用すること。

(二)農薬を散布する時は、必ずゴム手袋、マスク等を用服装を整え農薬の取扱いは慎重に行い不健康な人、疲労している人などは散布作業に従事しない事

(三)散布作業は、朝夕の涼しい時間を選び、二～三時間で交替すること。

(四)作業後は、手足は勿論、全身を石けんでよく洗い作業期間中は衣服は毎日取り替えること。

(五)作業後酒を飲んだり夜ふかししないこと。

(六)めまいがしたり、頭痛がしたり気分が少しでも悪くなったりした人は、医師の診断を受けること。

(七)農薬の保管には十分注意すること。

(八)農薬を散布する時は子供が近よらないよう配慮すると共に居住者、通行人、家畜等に被害を及ぼさないよう風向に十分注意すること。

以上の注意事項を守り、本町から被害者を一人も出さない様、皆様の御協力をお願い致します。

昭和53年度 移動町政

本年度も次の日程に従い、移動町政を実施致します。町政について現況説明をなし、町民一人一人の御意見御希望を聞き、町政に活かすため町長を筆頭に各課担当が、各部落に出向きます。多数参加してください。

期日	曜日	A班（部落名）	B班（部落名）	摘要
9月26日	火	古中尾	倉谷	8時 自室
27日	水	内野	中尾	〃
28日	木	上下門	川内	〃
29日	金	梨竹	竹中	〃
10月 2日	月	小津奈木	浜崎	〃
3日	火	町中	浜	〃
11日	水	桜戸	大泊	〃
12日	木	赤崎	平国	〃
13日	金	福浦		〃

日程及び時間に変更があった場合は、有線放送で通知致します。

予告

第三回
町内ゲートボール大会

●期日　昭和53年11月の予定
●参加資格　町内在住の方
●地域・職場・グループ等にて編成
●一チーム選手5名・補員2名

津奈木町
ゲートボール協会